

指導と評価の年間計画・評価規準の作成のための参考資料

# 18 福祉

<目次>

I 「指導と評価の年間計画及び評価規準の作成の手引き」

P 1～2

II 「指導と評価の年間計画」

○社会福祉基礎

P 3～4

III 「单元ごとの指導と評価の計画」

○社会福祉基礎

P 5～7

○科目の目標

○科目の評価の観点及びその趣旨

○内容のまとめりごと

□目標

□評価規準

○单元ごと

□目標

□評価規準

□各授業時間ごとの主な内容

□授業指導案例

# I 「指導と評価の年間計画」及び「評価規準と単元計画」の作成の手引き

## 1 「指導と評価の年間計画」について

これは、次の2の「評価規準と単元計画」の全単元について、その概要を記述したものである。生徒の学習活動に対するより適正な評価、及び生徒の学習の改善に生かされる評価（指導と評価の一体化）の実現を目指して作成する。これまで作られてきた指導計画は、多くの場合、学習内容（指導内容）を単に1年間の授業時間数に対して配分しただけに留まっていたが、この「指導と評価の年間計画」では各授業ごとの学習活動のポイント、観点別の評価のポイント、評価方法、評価規準も含めて記述する。

## 2 「評価規準と単元計画」について

学習指導要領に基づく「評価規準と単元計画」は、言い換えれば、評価規準を盛り込んだ「単元ごとの指導と評価の計画」である。次の内容構成で作成する。

○科目全体の「目標」「評価の観点の趣旨」を示す。

- ・科目全体の目標…学習指導要領に示す当該科目の目標
- ・科目全体の評価の観点及びその趣旨

…「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」参照

○内容のまとまりごとの「目標」「評価規準」…内容のまとまりごとに4観点別に示した目標、評価規準

- ・内容のまとまりごとの目標 …学習指導要領の「内容」の(1)(2) …の大項目ごとの目標を記す。
- ・内容のまとまりごとの評価規準…内容のまとまりごとに4観点別に示した評価規準を記す。「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」参照

※「内容のまとまり」とは、ほとんどの教科書の「章」に該当するものであるが、学習指導要領に示された内容に基づいており、使用する教科書等に基づく「章」とは必ずしも一致しない場合がある。

○単元ごとの「目標」「評価規準」を示す。

- ・単元ごとの目標 …実際の使用教科書等に基づいた授業の進度に沿って単元ごとに示した目標。学習指導要領の項目ごとのねらいを基に記載する。
- ・単元ごとの評価規準…単元ごとに4観点別に示した評価規準。「内容のまとまりごとの評価規準」を単元の内容に即して具体化したもの。

○各授業時間ごとの具体的評価規準と方法

- ・各授業ごとに単元ごとの評価規準に基づく具体的な評価規準とその方法を示したもの
- ・本時の目標…上記の「指導と評価の年間計画」及び科目全体の「目標」「評価の観点の趣旨」、内容のまとまりごとの「目標」「評価規準」を反映したものでなければならない。
- ・評価規準 …「目標」を具体化したものであり、目標が生徒の学習状況として実現された状況を具体的に想定して示す。
- ・評価方法 …評価方法については、各学校で各教科・科目の学習活動の特質、評価の観点や評価規準、評価の場面や生徒の発達の段階に応じて観察、生徒との対話、ノート、ワークシート、学習カード、作品、レポート、ペーパーテスト、質問紙、面接などの様々な評価方法の中から、その場面における生徒の学習状況を的確に評価できる方法を選択していく。

単元ごとの指導と評価の計画<例>

□単元名：○○○○

□単元の目標

○○○○○
-------

□各授業時間ごとの指導と評価の計画（例）

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体の評価規準				評価方法等
				関心・意欲 ・態度	思考・判断 ・表現	技能	知識・理解	
・学習内容 の主な項目を記載								・評価の具体的な方法及び指導のポイントを記載

Ⅱ 指導と評価の年間計画(社会福祉基礎) <例>

科目名: 社会福祉基礎 学科: 福祉科

岐阜県立 ○○ 高等学校

目 標 【学習指導要領】		社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
到達目標に向けての具体的な取り組み 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】		・社会福祉の意義と各分野の現状について理解を深め、事例や演習を通して興味を持って学習することができる。							
月	単元名	使用教科書項目	時	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価方法				
4月	第1編 現代社会と社会福祉 第1章 現代の日本社会と福祉の視点	「社会福と基礎」学習について	1	・「社会福祉基礎」の学習の意義や内容、学習や評価の方法を理解する。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト	○	○	○	○
		1 現代の社会	1	・現代社会の変化とともに、人々が社会福祉及び関連する制度やサービスに何を求めているかについて考える。					
		2 人口の変化	1	・少子高齢化社会の課題について考える。					
		3 地域の変化	1	・都市化、過疎化に伴う人口変動の地域差について理解し、その課題について考える。					
		4 生活の変化	1	・生活水準の向上と生活の質の改善に伴う課題について考える。					
		5 労働の変化	1	・女性や高齢者の雇用について理解し、その現状について考える。					
5・6月	第2章 私たちの一生と社会福祉	6 家族の変化	2	・家族形態の多様化や世帯人員の減少に伴う課題について考える。					
		1 人の一生	2	・人の一生を人間の発達過程により理解し、家族・家庭との関係や社会福祉との関連性について考える。					
		2 出生率の変化と平均寿命の変化	2	・出生率低下の背景とそのもたらす影響・及び平均寿命の伸びに伴う課題について考える。					
		3 ライフサイクルの変化とライフステージ	2	・ライフサイクルの意味について理解し、その変化に伴う課題について考える。また、ライフステージの意味について理解し、各段階における生活課題について考える。					
7・8月	第3章 現代における社会福祉とは	4 人の一生と社会福祉	2	・社会福祉制度が、人の一生の様々な場面で不可欠な存在であることを理解する。					
			6	・社会福祉の必要性や社会福祉の目標等について考える。					
		第2編 社会福祉の理念と意義 第1章 社会福祉の理念	1 社会福祉と日本国憲法	2	・日本国憲法第13条や第25条等の意義について理解し、社会福祉の基本的な理念とは何かを考える。				
7・8月	第2章 自立生活支援と社会福祉	2 現代の福祉理念	2	・人権に関する世界の動きを理解し、ノーマライゼーションの重要性について考える。					
		3 社会福祉をささえる諸原理	2	・利用者本位の社会福祉を実現するための諸原理について考える。					
		1 児童の福祉	2	・児童福祉の基本的な事項について理解するとともに、関連する課題について考える。					
		2 障害者の福祉	2	・障害者施策の基本的な事項について理解するとともに、関連する課題について考える。					
		3 高齢者の福祉	2	・高齢者福祉の基本的な事項について理解する。また、望ましい社会福祉の援助の在り方について考える。					
9・10月	第3章 社会保障と社会福祉	4 自立生活支援	2	・自立とは何か、自立生活とは何かについて理解する。また、望ましい社会福祉の援助の在り方について考える。					
		5 社会福祉の制度としくみ	2	・社会福祉を支える国や地方自治体、実施機関などの組織や役割について理解する。					
		1 社会保障の目的と範囲	1	・社会保障制度の目的や範囲について理解するとともに、社会保障によるセーフティネットの役割と重要性について考える。					
		2 社会保障と社会保険	1	・社会保障の機能として、所得保障・医療保障・社会福祉について理解する。また、社会保険と社会扶助との関係について理解し、その課題について考える。					
		3 社会保障・社会福祉の財政	1	・社会保障費・社会福祉費の財源やその特徴について理解するとともに、給付と負担のバランスについて考える。					
9・10月	第2章 アメリカ合衆国の社会福祉	4 社会福祉サービスの特質	1	・社会福祉は社会保障の一環であることを理解し、社会福祉サービスの特質について探究する。また、社会福祉の今後の役割について考える。					
		5 自立をささえる社会サービス	2	・社会福祉は、多くの関連する領域の社会サービスとの協働によって実現されることを理解する。					
		1 社会福祉のはじまり	2	・ヨーロッパ諸国における初期の社会福祉について理解する。また、イギリスのエリザベス教育法や新政法法の制定意義について考える。					
		2 ゆりかごから墓場まで	2	・戦後イギリスの社会保障について理解し、福祉国家としての形成過程やベリッジ計画などが世界に及ぼした影響について考える。					
9・10月	第3編 社会福祉の歴史 第1章 ヨーロッパの社会福祉	3 地方分権と地域ケア	2	・イギリスにおける地方分権と地域ケア改革について理解し、社会福祉や保健医療サービスの望ましいあり方について考える。					
		4 北ヨーロッパの社会福祉	2	・スウェーデンやデンマークなど、北欧諸国における先進的な社会福祉制度が、どのような歴史的経過を経て確立されてきたのかについて考える。					
		1 民間社会事業の先駆と世界初の社会保障法	2	・アメリカ経済の急速な発展に伴う光と影について理解する。また、社会福祉援助活動の基礎を形成した慈善組織化運動や世界初の社会保障法制定の背景について考える。					
11・12月	第4章 日本の社会福祉の発展	2 アメリカ合衆国の最近の動向	2	・自立生活運動の考え方について理解し、障害をもつアメリカ人法(ADA)の制定過程や意義について考える。					
		1 近代社会福祉の誕生・社会福祉の先覚者	2	・社会福祉実践の先駆的な取組とその業績について理解する。また、恤救規則等の近代社会福祉制度の誕生過程について考える。					
		2 地域福祉の先駆け	2	・現在の地域福祉にも大きな影響を及ぼしている方面委員活動やセツルメント活動など、先駆的な活動の役割について考える。					
		3 社会事業への着手	2	・救護法などの制定と相まって、社会福祉及び社会保障制度の基礎づくりが着手された第2次大戦前後の時代について考える。					
		1 第2次世界大戦後の混乱期から福祉3法体制の確立	2	・戦後の混乱と生活苦について理解するとともに、生活保護法・児童福祉法・身体障害者福祉法の福祉3法体制が確立されるまでの過程について考える。					
11・12月	第4編 社会福祉分野の現状と課題 第1章 児童・家庭の福祉	2 高度経済成長のなかで	2	・高度経済成長期における「福祉元年」と呼ばれた社会福祉の新たな展開について理解する。また、知的障害者福祉法・老人福祉法・母子福祉法の3法を加えた福祉6法体制が確立されるまでの過程について考える。					
		3 福祉改革とゴールドプラン等の動き	2	・ゴールドプランの策定や福祉8法の改正など、21世紀の保健福祉を準備する様々な制度改革について考える。					
		4 国際障害者年から障害者基本計画へ	2	・各国の障害者施策の積極的な推進を提唱する国連の取組について理解する。また、このような国連の動きに対応して策定された障害者プランや障害者基本計画について、その内容を具体的に考える。					
		5 少子化への対応と子ども・子育て応援プラン	2	・少子化がどのような影響を及ぼすのかについて理解するとともに、少子化への対応策として制定された少子化対策基本法や子ども・子育て応援プランなどについて、その内容を具体的に考える。					
		1 子育て支援と保育所	2	・環境の変化に伴う新たな保育ニーズについて理解し、保育所・保健センター・保健所などの役割について考える。					
11・12月	第1章 児童・家庭の福祉	2 社会の変化と児童・家庭の支援	2	・社会的支援ニーズの変化について理解し、児童相談所・児童養護施設・乳児院などの役割とその支援の在り方について考える。					
		3 児童の健全育成	2	・児童の健全育成には地域における子どもの「居場所」づくりが重要であることを理解するとともに、その対応策について考える。					

	4	母子と寡婦の福祉	2	・母子及び寡婦福祉の基本的な事項について理解するとともに、母子家庭に限らず父子家庭などにも共通する課題について考える。						
	5	生涯児の福祉と教育	2	・早期発見や早期教育の重要性について理解するとともに、障害児福祉施設や特殊教育の現状と課題について考える。						
1月	第2章 障害者の福祉	1	障害と障害者	2	・障害者とはどのような存在なのかということについて理解する。また、身体障害者・知的障害者・精神障害者の障害程度区分について考える。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト				
		2	障害の予防とリハビリテーション	2	・障害を予防するための様々な取組について理解するとともに、リハビリテーションの重要性とその課題について考える。					
		3	障害者の自立支援	2	・障害者自立支援法の目的について理解するとともに、障害福祉サービスの体系及び利用手続きについて考える。					
		4	障害者の生活支援	2	・障害者の生活支援について理解するとともに、介護サービスの内容について考える。					
		5	障害者の施設福祉	2	・障害者の福祉施設について理解するとともに、福祉施設の実践について考える。					
		6	障害者福祉の課題	2	・障害者の雇用促進に関する施策や建物・交通機関におけるバリアフリー化等の状況について考える。					
2月	第3章 高齢者の福祉	1	高齢化に対する福祉と保健	2	・高齢者福祉の取組について理解するとともに、高齢社会をめぐる福祉と保健の課題について考える。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト				
		2	高齢者の健康と生きがい	2	・高齢者の社会参加促進対策について理解するとともに、生きがいづくり・健康づくりの課題について考える。					
		3	介護保険制度 (1)	2	・介護保健制度の概要及び利用手続きについて理解するとともに、関連する課題について考える。					
		4	介護保険制度 (2)	2	・介護保健制度のサービス給付について理解するとともに、関連する課題について考える。					
		5	高齢者の在宅福祉	2	・高齢者に対する在宅福祉サービスの必要性について理解するとともに、サービス提供機関の運営の在り方について考える。					
		6	高齢者の施設福祉	2	・高齢者に対する施設福祉サービスの必要性について理解する。また、施設の体系とその機能について考える。					
3月	第4章 公的扶助	1	生活の保障	2	・貧困問題等について理解し、生活保護制度の役割について考える。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト				
		2	生活保護法とその制度	2	・生活保護制度の意義、基本的原理と保護の原則、保護の種類などについて、その概要を理解する。					
		3	生活保護の実態	2	・生活保護の動向や実態について理解し、関連する課題について考える。					
3月	第5章 地域の福祉	1	地域の福祉とボランティアの役割	2	・地域社会で生じる様々な生活課題に対応するボランティアの存在とその役割について考える。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト				
		2	地域福祉の各種サービスと組織	2	・地域福祉の内容について理解するとともに、地域福祉の担い手と組織について考える。					
		3	在宅福祉と施設福祉の総合化	2	・施設福祉サービスの変化と在宅福祉サービスの充実について理解するとともに、総合的サービスの必要性について考える。					
3月	第5編 社会福祉の担い手と福祉社会への展望	1	社会福祉従事者の現状	2	・福祉社会を創造していくために必要な社会福祉従事者とその専門性について理解するとともに、社会福祉従事者の現状について考える。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト				
		2	社会福祉士と介護福祉士	2	・福祉士の業務などについて、「社会福祉士及び介護福祉士法」の条文により理解する。					
		3	社会福祉専門職および関連専門職の資格制度	2	・社会福祉専門職及び関連専門職の資格制度には、国家資格の他に、公的資格や民間資格、養成講座を修了すると得られる資格等があることを理解する。					
		4	社会福祉の人材の動向と確保	2	・福祉サービスの質的向上、量的拡充のためには、社会福祉の人材確保は不可欠であることを理解し、人材の養成と研修の在り方について考える。					
		5	社会福祉の倫理	2	・社会福祉従事者の利用者に対する望ましい関わり方について考える。					
3月	第2章 福祉社会の創造	1	福祉のまちづくり	2	・「まちづくり」に必要な福祉的な視点とは何かについて考える。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト				
		2	心のバリアフリー	2	・人々の意識の中にある偏見や差別等の障壁を取り除くためには、どのような努力や取組が必要なのかについて考える。					
		3	ボランティア活動の展開	2	・ボランティア活動の今日的意義を理解するとともに、ボランティア活動をめぐる新しい動きについて考える。					
3月	第3章 21世紀福祉社会の展望	1	新しい社会連帯	2	・「共に生きる」「共感する」ということの意味について理解し、新しい社会連帯の在り方について考える。	ワークシート 行動観察 ペーパーテスト				
		2	技術革新の時代における社会福祉	2	・科学技術における最新の成果を社会福祉の分野に応用することが重要な課題となっていることを理解する。					
		3	国際的な視点に立って	2	・人類の抱える多様な課題について理解し、社会福祉分野での国際協力の可能性について探究する。					

合計時間数 140

### Ⅲ 単元ごとの指導と評価の計画

□単元名 第2編 社会福祉の理念と意義 第2章 自立生活支援と社会福祉

1 児童の福祉 2 障害者の福祉 3 高齢者の福祉 4 自立生活支援 5 社会福祉の制度としくみ

□単元の目標

社会福祉の在り方や理念について、日本国憲法や社会福祉法、近年の国際的な福祉の考え方などを取り上げ、経済救済中心から自立生活支援へと変化してきたことについて理解させる。

□各授業時間ごとの指導と評価の計画

主な学習内容	ねらい	学習活動	時間	学習活動における具体的評価規準				評価方法等
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
第2章 自立生活支援と社会福祉 1 児童の福祉 ・児童福祉法の制定 ・児童憲章 ・児童の権利に関する条約 ・児童の自立支援	○児童福祉法制定の理念について、歴史的な経験を通じて理解させる。 ○児童憲章・児童の権利などに、児童福祉の理念について理解させる。 ○児童の自立支援について、児童福祉法の改正を踏まえて理解させる。	・児童福祉法・児童憲章・児童の権利擁護、制定の歴史的経緯や理念について理解する。 ・児童の自立支援の観点から事例を基に話し合い考える。	1	①児童福祉法・児童憲章・児童の権利擁護、制定の歴史的経緯や理念について考えようとしている。 (ワークシート)	①児童福祉について自ら思考を深め、自立生活支援と社会福祉との関わりを考えている。 (ワークシート)		①児童福祉制度の理念が、自立支援へと変化してきた過程について理解している。 (ペーパーテスト)	・ワークシート ・行動観察 ・ペーパーテスト
○高齢者福祉の課題について、我が国の高齢社会の特徴から考察させる。 ○老人福祉法の基本理念と内容の概略について、理解させる。 ○高齢者福祉の推進について、自立支援の観点から考察させる。	○障害者について考えさせる。 ○障害者福祉に関する法制定のあゆみを理解させる。 ○障害者に対する自立生活支援のために、どのような社会サービスが必要か考えさせる。	・障害者を様々な視点から理解する。 ・障害者施策の基本について理解する。 ・障害者の自立支援の観点から、事例を基にしてどのような法律があり社会サービスが利用できるか話し合い考える。	1	②多様な自立生活を支える社会福祉サービスについて関心をもち、社会福祉の向上を図る態度を身に付けている。 (ワークシート)	②障害者の自立支援の事例からどのような法律があり、社会サービスが利用できるか考えている。 (ワークシート)		②障害者の定義や理念について障害者福祉に関する法制度の歩みについて理解している。 (ペーパーテスト)	・ワークシート ・行動観察 ・ペーパーテスト

3 高齢者の福祉 ・高齢者福祉の目標 ・老人福祉法の成立 ・要介護高齢者の増加への対応	○高齢者福祉の課題について、我が国の高齢社会の特徴から考えさせる。 ○老人福祉法の基本理念と内容の概略について理解させる。 ○高齢者福祉の推進について、自立支援の観点から考えさせる。	・高齢者の疑似体験（日常生活動作・視覚・聴覚）から老いについて考える。 ・老人福祉法の基本理念について理解する。 ・高齢者福祉の推進について、自立支援の観点から、高齢者に対してどのように接したらよいか話し合う。	2	③高齢者の疑似体験に取り組み、高齢者をイメージしながら高齢者への接し方について考えようとしている。 (ワークシート)		③高齢者のからだところの変化について理解している。 (ペーパーテスト)	・ワークシート ・行動観察 ・ペーパーテスト
					③高齢者福祉について自ら思考を深め、高齢者に対してどのように接したらよいかを考えている。 (ワークシート)	④高齢者福祉の目標・理念について理解している。 (ペーパーテスト)	・ワークシート ・行動観察 ・ペーパーテスト
4 自立生活支援 ・自立と自立生活 ・自立生活支援	○自立した生活とは何かについて、高齢者や障害者の立場を含め考えさせる。 ○福祉の援助視点として、自立生活支援の立場が重要であることから具体的な生活課題の解決策について考えさせる。	・どのような状態が自立と言えるのかを考える。 ・自立の概念について理解する。 ・自立生活支援について、事例とともに生活課題や解決策について考える。	1	④ノーマライゼーション、自立生活運動などに関心を持ち、福祉社会に向けた課題に意欲的に取り組もうとしている。 (ワークシート)	④自立生活支援の事例をもとに思考を深め、自立生活支援について、生活課題や解決策について考えている。 (ワークシート)	⑤自立生活支援の考え方を把握し、自立について理解している。 (ペーパーテスト)	・ワークシート ・行動観察 ・ペーパーテスト
5 社会福祉の制度としくみ ・国の仕組みと役割 ・社会福祉の実施期間	○社会福祉制度を支える組織や役割について理解をさせる。 ○社会福祉の実施期間・専門職員について理解させる。	・社会福祉の制度に関わり（国と地方自治体）の役割や仕事について理解する。 ・身近な社会福祉の実施機関について考える。	1	⑤社会福祉体系、制度や実施機関に関心を持ち、社会福祉に関する幅広い視野と福祉観を養おうとしている。 (ワークシート)	①身近な社会福祉の実施機関について調べ、まとめることができる。 (ワークシート)	⑥社会福祉体系、制度、国と地方自治体の役割や仕事について理解している。 (ペーパーテスト)	・ワークシート ・行動観察 ・ペーパーテスト
総時間数			6				

学指指導案

科目名	社会福祉基礎		
単元名	第2編 社会福祉の理念と意義		
本時の主題	第2章 自立生活支援と社会福祉 3 高齢者の福祉（4時間目/6時間）		
指導観	高校生にとって、高齢者の体や心の変化を理解することは容易でないと思われることから、前時において高齢者の疑似体験をさせ、加齢に伴う身体機能の変化と、身体機能が精神面にも影響を与えることを体験的に考えさせた。本時は、前時における学習を振り返り、高齢者に対する望ましい接し方に気付かせ、高齢者の尊厳・自己決定の尊重・残存機能の活用について考えさせたい。		
本時の目標	高齢者福祉の目標や理念と高齢者の尊厳・自己決定の尊重・残存機能の活用について考えさせる。		
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価について
導入 5分	本時の目標確認	1 本時の目標の確認	
	高齢者福祉の目標	2 高齢者のこころとからだの変化から高齢者福祉の目標に気づき、自分に置き換えて考える。 ○予想される生徒の反応 ・尊敬され、健康で自立した生活を送りたい。 ・自分が住みなれた家や地域で暮らしたい。 ・社会参加し、自分の能力を発揮する活動を継続したい。	評価規準【知識・理解】—④ 高齢者福祉の目標・理念について理解している。 ＜評価方法＞ ・ワークシート  Aの例 ・高齢者福祉の目標である高齢者がその人らしく、いきいきと人間らしい生活ができるための生活について理解している。
展開 40分	老人福祉法の成立	3 老人福祉法の成立の基本的理念について理解する。 ○予想される生徒の反応 ・高齢者は敬愛される。 ・高齢者自身が心身の健康を保持し、社会に主体的に参加する。 ・高齢者以外の者に、高齢者の社会参加を保障させる。	
	要介護高齢者の増加への対応	4 実習の際に出会う利用者への接し方について、グループで考え発表する。 ○予想される生徒の反応 ・高齢者に接する際には、高齢者の尊厳に配慮する。 ・高齢者自身ができることを大切にする。 ・高齢者の自己決定を尊重する。 ・高齢者の自尊心への配慮をしながら援助をする。	＜Bを実現するための指導＞ ・高齢者疑似体験の感想や自分自身が高齢者となった時にはどのように生活したいかを考えさせる。 ＜Cへの手だて＞ ・他の生徒の発表を参考に考えさせる。
まとめ 5分	本時のまとめ	高齢者の自分らしい生活を送りたいとの思いを知り、自立生活支援の重要性について確認させる。自己評価欄に記入する。	本時の学習内容が、実習等で高齢者と関わる際に生かせるように指導する。

□工夫している点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に高齢者疑似体験を行い、高齢者の体や心の変化を共感的に理解できるように配慮した。</li> <li>・グループワークを行い、お互いの意見を確認させ、グループでまとめた意見を発表させるよう配慮した。</li> <li>・高齢者福祉や老人福祉法の理念に基づいた考え方をもち、高齢者に接することが重要であることを伝えるために、高齢者福祉の目標や老人福祉法の成立について学ばせてから実際に接する時の配慮を考えさせた。</li> </ul>
---